

国際化・現地語化ツールを利用した 開発の効率化について

2011年4月

国際化JP株式会社

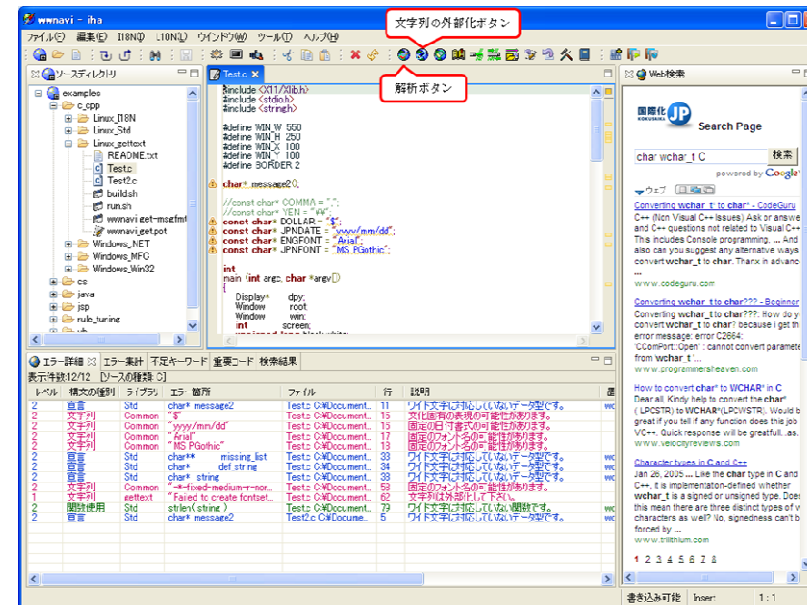
<http://www.kokusaika.jp/>

Email: kjp-sales@kokusaika.jp

ツールを導入するとどのくらい効率化できますか？

- この質問への回答はとても難しいのです。
- ソフトウェアにはいろんな種類があります。規模も、処理する内容も、出来の善し悪しも様々です。
- それでもやっぱり何か数値で示して欲しいですね。
- では、仮定を設けてどのくらいの効率化が期待できるかをご説明しましょう。

- 国際化には何種類かの作業がありますが、最も労力がかかる埋め込みメッセージの外部化だけを行うと仮定します。
- ソースコード中に2,000行の埋め込みメッセージがあると仮定します。
- 1行のメッセージを外部化するのに、1分かかると仮定します。
- すべてのメッセージを外部化するのに、2,000分=約33時間、約4日間かかります。(実際はもっとかかります)
- World Wide Navi を使用するとこの作業を数分で完了できます。インストールから始めて使い方を勉強したとしても3時間もあれば十分です。
- 33時間が3時間で終わるので、時間が約10分の1に短縮できることになります。

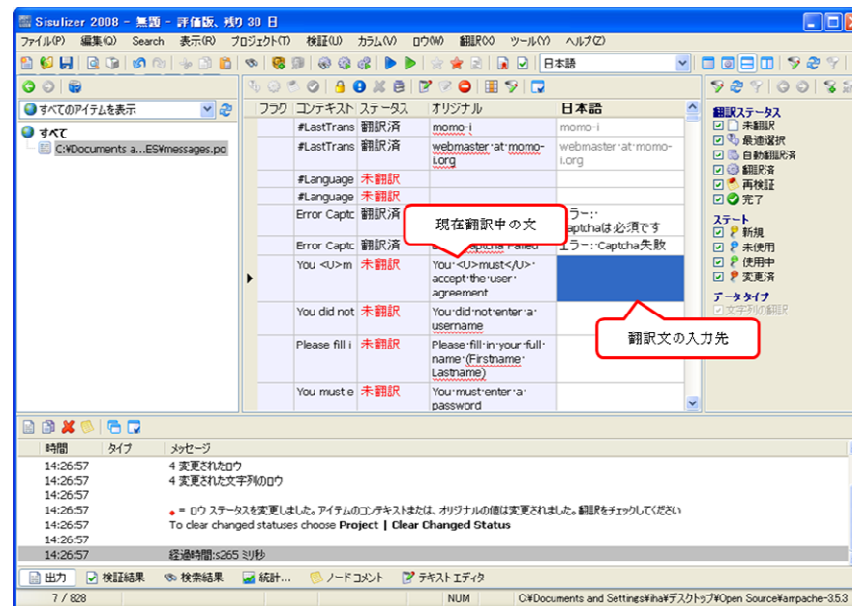


メッセージ外部化の自動化による効果

約10倍

Sisulizer による現地語化開発の効率化

- Sisulizerは、ソフトウェアが出力する文字列の翻訳作業を支援します。
- Sisulizerを使用すると、様々な形式の翻訳対象ファイルを同じ操作で翻訳作業を行うことができます。ソフトウェア技術者でなくてもソフトウェアの翻訳を行うことができます。(作業の難易度が下がります)
- 翻訳作業自体はSisulizerを使っても同じことを行うので効率化されません。
- 未翻訳部分の抽出、翻訳文字列の長さのチェックや、同じ言葉に同じ訳語を割り当てるなど機械的にできることをSisulizerが自動的に実施します。
- 翻訳1箇所あたりの確認(動作させて目視)に30秒かかると仮定します。Sisulizerの自動チェック実施後、目視確認に5秒かかるとすると、その効果は6倍です。
- このチェック作業を翻訳作業全体の1/5の作業量と仮定すると全体での効果は、1.2倍となります。



表示幅チェックおよび訳語の自動割り当てによる効果

**チェック部分だけだと約6倍、
全体を通して約1.2倍**

数値の解説

- World Wide Navi の『10倍』について
 - World Wide Navi の機能がぴったりマッチするケースでソフトが大規模の場合は、10倍以上になるケースもあります。
 - すでに文字列の外部化が終わっている場合でも、その他の国際化開発の効率化に利用でき、1.5倍からそれ以上の効果が期待できます。
- Sisulizerの『6倍』『1.2倍』について
 - Sisulizer導入のメリットは量的な変化よりも、作業を定型化することによる質的な変化にあります。
 - 特に効果が大きいのはバージョンアップの際に翻訳メモリの機能を利用できることで、新規開発のときよりもツール導入の効果は上がります。

Software has no boundary.

国際化JP株式会社

since June 2006

<http://www.kokusaika.jp/>

連絡先:

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-11-6 共同ビル(内神田) 4F

kjp-sales@kokusaika.jp

TEL: 03-6206-8523 FAX: 03-6206-8524